

## 既存試料・情報の提供に関する情報公開について

岡山旭東病院では以下の通り、患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。

インフォームド・コンセントを実施しない場合において、「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する指針」に基づき、情報公開いたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。ご自身のデータについて、本研究への利用を望まれない場合には、担当責任者にご連絡ください。

西暦 2026 年 3 月 3 日作成

研究課題名	CyberKnife 頭部治療における評価間隔の違いによる IFM の時間依存性の検討
研究期間	倫理委員会承認日 ~ 2027 年 3 月 31 日
既存試料・情報の収集期間	2025 年 9 月 25 日~2026 年 1 月 30 日まで
研究対象者	2025 年 9 月 25 日~2026 年 1 月 30 日に頭部サイバーナイフ治療を完了した方
研究の意義と目的	サイバーナイフ頭部放射線治療の intra-fractional motion (IFM) は、先行研究で 15 分単位評価により 16 分以降の増大が報告され、15 分以上の治療ではマージン増加が推奨されている。当院の平均治療時間は 20 分であり、その妥当性を検証するため、15 分単位に加え約 50 秒単位で IFM を評価したい。
研究の方法	2025 年 9 月 25 日~2026 年 1 月 30 日に頭部サイバーナイフ治療を完了した連続 50 症例を抽出した。治療途中に再ポジショニング等でカウチ移動を要した 5 例を除外し、45 例を解析した。位置照合用 X 線画像は約 50 秒毎に取得し、全治療時間にわたる 6 軸オフセットを記録し、その変位から 3 次元ベクトル IFM を算出した。平均治療時間は 20 分であった。3 次元ベクトル IFM を 15 分単位および約 50 秒単位で算出し、治療時間との関連を評価した。
提供する試料・情報	位置照合用 X 線画像、治療時間 等
個人情報の保護	収集した試料・情報は、個人情報と研究用 ID を結びつける(対応表を作成する)場合、氏名、生年月日などの直ちに個人が特定できる情報は削除し、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に利用します。また、個人情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間 岡山旭東病院 放射線課で保存します。電子情報はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他紙媒体の情報は施錠可能な保管庫で保管します。
試料・情報の利用または他の研究機関への提供の停止について	患者さんまたはその代理人のご希望により、患者さんが識別される試料・情報の提供とも利用を停止することができます。試料・情報の提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。
問い合わせ先	岡山旭東病院 放射線課 研究担当責任者:小野 裕之 連絡先(電話番号) 086-276-3231(平日:9時~17時)